

西上州はエライ！

西上州 犬殺しの滝、ナメネコフォールアイスクライミング

岩田

【日時】 2007年2月11～12日

【メンバー】 L岩田、高橋、田邊、佐藤

今年の冬は暖冬だと言われてはいたがまさかここまで暖かいとは…。山は雪が降らず、滝は凍らないという山屋にとってはなんともつまらないシーズンとなってしまった。今年の2月の3連休は荒川出合での定着アイスを計画していたがあの長い林道を歩いて凍っていなかった、となったら悲惨なので転進しやすい毎度おなじみの西上州になった。

11日 【犬殺しの滝】

うっすらと雪が積もった沢を詰めていくと見慣れた犬殺しの滝、仔犬殺しの滝が現れる。以前よりは薄く、小さく見えるがなんとか凍っていて一安心。仔犬殺しはいままで何度も登ったが犬殺しを登るのは今回が初めてだ。ツララの集合体というイメージがあったがツララはあまり発達していない。例年通りならばツララから水が滴っているそうだが今年はそれも少ない【右下写真】。高橋さんによれば今年はお買い得だそうだ。

まずは岩田がトップで左を登らせてもらう。今シーズンはアイスに打ち込んでいるのでバーチカルアイスが登りたくてしょうがなかった。毎日やっているトレーニングの成果を試す絶好の機会である。氷はやや固めだがバイルもアイゼンも良く決まる。最近になってようやく足を使って登ることを覚えたので思ったよりスムーズに登れた。フィフィのお世話にもならず中間部に着きここにトップロープを張って各自トレーニングをする。

トップロープで右を何回か登ってみると欲が出てここもリードで登りたくなった。トップロープの支点の回収がてら登らせてもらった。ちょっと危なっかしい箇所はあったがここもフィフィの



お世話にならず登れた。フィフィは重要だが使ってしまうと敗北感を感じるのは自分だけ？
仔犬殺しでは仁さんがリードに挑戦し無事に登りきった。

終了後は今日だけで帰る仁さんを下仁田の駅まで送り、西上州アイスクライマーの宿に向かった。

12日 【ナメネコフォール】

この日のナメネコフォールは登るのも見るのも初めてだ。数年前初めて高橋さんが訪れたときはアプローチに苦労したそうだが今回はそのときの石井さん特製地図があるので楽である。荒船不動からはカブコロンが見える。グレードはわからないがいつかは登ってみたい滝だ。荒船不動からカブコロンを目指すようにひたすらトラバースしていくと炭焼き釜の跡に出てすぐ沢に出会う。ここを詰めていくとナメネコフォールが現れる。荒船不動から約1時間で到着できた。

暖冬ながらも見事に凍っていたので嬉しい【右下写真】。ここもまた岩田リードで左を登らせてもらった。下から見ると階段状になっていて簡単にいけるのではと思ったがところどころ垂直になっていて前の日の犬殺しよりは難しく感じた。それでもなんとか登りきりトップロープを張って遊ぶことにした。右をトップロープで登ってみたがこちらは一部ツララになっていて上部は氷が硬くなかなか手強い。リードをするにはちょっとためらい来年にとっておくことにした。それにしてもこんな暖冬なのにここまで凍っているとはさすが西上州である。

西上州も最近はずでにメジャーになったようで多くの人が入るようになったがナメネコフォールはほとんど手付かずの状態なのだろう、静かなクライミングができていい気持ちだった。こんな滝が西上州にはまだあるのだろうか？来年はカブコロンか？いや、ツララの犬殺しも登らなくては！来年にむけて目標は膨らむばかりだ。

【グレード】

犬殺しの滝 左 IV+ 、右 V-

ナメネコフォール

左 V- 、右 V

